

# EU Indicators

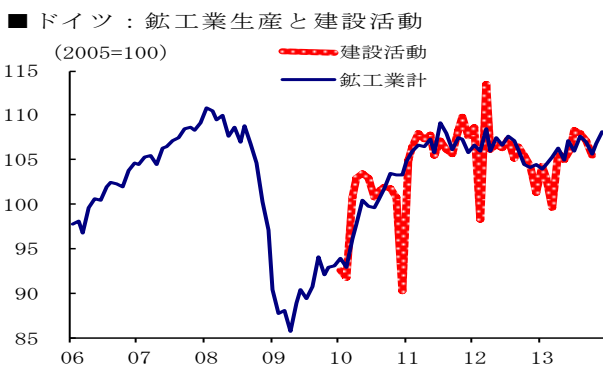
## 欧州経済指標コメント：10月ドイツ鉱工業生産・貿易収支

発表日：2013年12月10日(火)

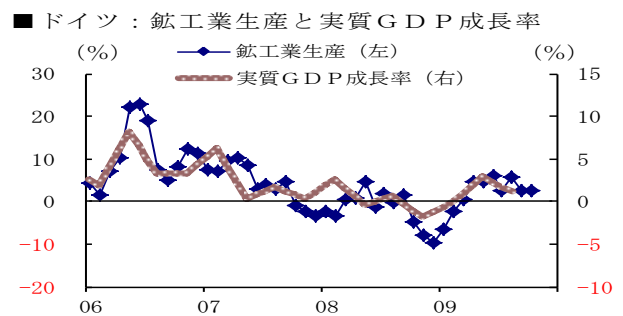
～ここが我慢のしどころか～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 主席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

- 9日に発表された10月のドイツの鉱工業生産は前月比▲1.2%と2ヶ月連続の減産。前月値が小幅上方修正(同▲0.9%→同▲0.7%)されたが、増産を見込んだ事前予想(同+0.7%)を大きく下振れした。財別の内訳は、中間財が同+0.9%と3ヶ月連続の増産となった以外は揃って落ち込んだ。資本財が同▲3.0%と2ヶ月連続の減産、消費財も耐久財を中心に低迷し同▲0.8%と3ヶ月振りの減産。エネルギー(同▲1.9%)と建設(同▲1.7%)も減少した。
- I f o指数やPMIなどマインド統計は広範な項目で製造業活動の回復を示唆しており、先行きは生産回復がより鮮明になってくるものと判断。ただ、10-12月期が増産となるためには、11・12月の鉱工業生産が前月比で+1.2%ずつ増加する必要がある。生産指数から判断する限り、10-12月期の実質GDP成長率は前期(前期比+0.3%)並みの成長を確保するのがせいぜいなどところ。回復の足取りがより確かなものとなるのは、年明け以降にずれ込もう。
- 同日発表された10月の貿易収支(季節調整値)は167.5億ユーロと、単月として過去最高の黒字幅を記録した前月(187.1億ユーロ)から収支尻が悪化。輸出が3ヶ月連続で増加したが、前月比+0.2%と小幅増にとどまったうえ、輸入が同+2.9%と大幅に増加したことが影響。ただ、輸出受注判断は総じて上向いており、こちらも先行きは輸出の増勢が加速する公算が大きい。



出所：ドイツ経済技術省



注：鉱工業生産は3ヶ月移動平均、3ヶ月前比年率。実質GDP成長率は前期比年率。

出所：ドイツ経済技術省、ドイツ連邦統計局

■ ドイツの鉱工業生産 (季節調整済み、前期<月>比、%)

	2012				2013						
	4Q	1Q	2Q	3Q	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
鉱工業生産	-2.5	0.2	1.5	0.7	1.0	-1.3	2.2	-1.1	1.5	-0.7	-1.2
製造業・鉱業	-2.4	0.5	1.2	0.3	0.9	-1.3	2.0	-1.7	2.3	-1.0	-1.1
中間財	-2.1	0.7	1.1	-0.1	0.4	0.5	0.3	-0.7	0.2	0.2	0.9
資本財	-3.5	1.0	1.7	0.8	1.8	-3.2	3.7	-2.7	4.6	-2.4	-3.0
消費財	-0.2	-1.0	0.8	0.0	0.5	-0.1	1.1	-1.1	0.6	0.1	-0.8
耐久財	-5.5	3.1	0.9	0.3	-1.6	-5.0	12.3	-4.2	-3.0	2.2	-4.5
非耐久財	0.9	-1.9	0.9	-0.0	1.0	0.9	-1.1	-0.4	1.4	-0.4	0.0
エネルギー	-3.3	-0.6	1.3	1.8	-3.9	-1.9	4.5	0.3	-2.5	2.9	-1.9
建設	-2.5	-1.3	3.3	2.1	6.2	-0.8	1.0	2.1	-0.3	-0.7	-1.7

出所：ドイツ経済技術省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。